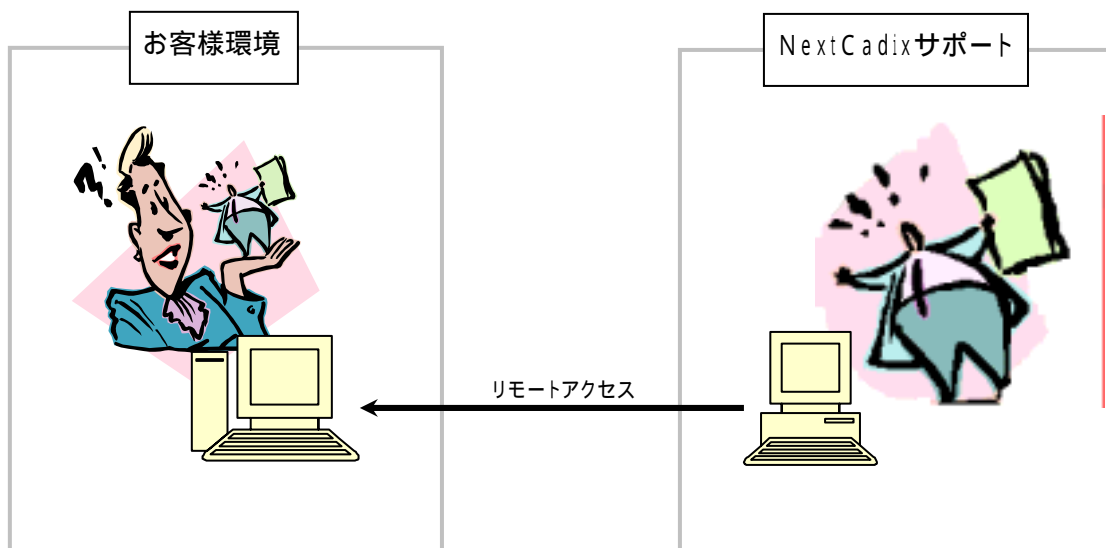


N·e·x·t·C·a·d·i·x

リモートアクセス提案書

1. リモートアクセスサポートとは

リモートアクセスサポートとは、デジタル、アナログ、インターネット回線のいずれかを利用して遠隔地のお客様の PC にアクセスし、お客様ご使用のデスクトップ環境を直接操作させて頂くサポート形態です。



【リモートアクセスサポートの特徴】

お客様の環境が直接確認できるため迅速な対応を取らせて頂くことができます。

(ソフトウェア障害が発生した場合にも、サポート員が直接お客様の環境を確認できます)

電話での説明が難しい操作方法が出た場合にも、お客様のデスクトップ画面を共有しながら説明が出来るため、容易に理解して頂くことができます。



2. リモートアクセスサポートに必要なもの

リモートアクセスを行うためには以下の2つが必要になります。

1. リモートアクセスソフト
2. 通信環境

これら2つについて詳しく説明します。

2.1 リモートアクセスソフト

PC AnyWhere

現在、弊社ではISDN回線が使用可能なお客様にはリモートアクセスソフトとしてSYMANTEC社製『PC AnyWhere』を使用しています。

PC AnyWhere には以下のような特徴があります。

【PC AnyWhere の特徴】

強固なパスワード保護とユーザ認証で、不正なアクセスや

PC AnyWhere 外部からの接続をチェックしブロック

強力な暗号化により、全ての通信データを保護、暗号ウィザードにより、PKI のセットアップをサポート

その他の多様なセキュリティ機能

- ・アクセスを許可するユーザの制限
- ・ボリューム単位のアクセス制限
- ・アクセス可能なホスト PC の制限
- ・モニタリング機能
- ・転送データの暗号化
- ・コールバック機能
- ・デバイスコントロール(スクリーン/キーボードのロックなど)
- ・カスタム設定の変更の制御

使用 TCP ポート

PC AnyWhere は TCP ポートの 5631、5632 番を使用します。



PC AnyWhere

Windows NetMeeting

高速な回線(ADSL、CATV、光)が利用できる場合には Windows NetMeeting の共有デスクトップ機能を利用します。

NetMeeting とは？

NetMeeting とは、Microsoft が開発したインターネットを使ったビデオカンファレンスのためのソフトウェアです。

NetMeeting には以下のような特徴があります。

無償で入手できる

一対一でのビデオカンファレンスが可能。

音声、動画を使わずチャットなどでは最大8人まで会議に参加可能

ディレクトリサーバの使用により、Netmeeting を使っている相手をいつでも呼び出せる相手の IP アドレス、ホスト名を指定しても通信できます。 。

アプリケーションを通信している相手と共有でき、共同作業ができます。

チャット、ホワイトボードを使い、文字や絵でのコミュニケーションが可能 です。

リモート デスクトップ共有により、遠隔地からコンピュータを操作することができます。

この中で、リモートアクセスサポートではデスクトップ共有機能を使います。

TCP ポートには、389、522、1503、1720、1731 番ポートを使用します。



2.2 通信環境

お客様の PC にアクセスするための接続形態には表 1 に示すような種類があります。

表 1 . リモートアクセスサポート接続形態

接続形態	回線契約	インターネット接続契約	接続方法	推奨
ISDN回線+ルーター	ISDN回線	必要ありません	弊社より、ルーター(RASサーバー)にダイヤルアップ接続し、お客様のPCにアクセスします。	
PHS+PC(RASサーバー)	一般回線	必要ありません	PHS経由でPC(RASサーバー)にダイヤルアップ接続し、お客様のPCにアクセスします。 動作実績OS : windows2000	
アナログIPルーター	一般回線	必要ありません	アナログ回線を利用してアナログIPルーターにダイヤルアップ接続し、お客様のPCにアクセスします。通信速度が28.8kまでしか出ないためpcAnywhereの使用は難しくなります。	
携帯電話又はPHSによるインターネット経由でのアクセス	一般回線	携帯電話、PHSによるインターネット接続サービスを行っているプロバイダ	携帯電話又はPHSによりお客様にインターネットに接続(グローバルIPの取得)して頂き、弊社よりお客様のPCにアクセスします。	
インターネット経由での接続	ADSL(一般回線) CATV*1) 光回線 ISDN回線	ADSL業者、プロバイダ CATV業者 光業者、プロバイダ NTT(フレッツ・ISDN)、プロバイダ	インターネット経由でお客様のPCにアクセスします。ご使用のルーターに静的NAT(IPフォワードینگ)機能があることが条件になります。	
インターネットVPN接続	ADSL(一般回線) CATV*1) 光回線 ISDN回線	ADSL業者、プロバイダ CATV業者 光業者、プロバイダ NTT(フレッツ・ISDN)、プロバイダ	インターネットVPNを利用してお客様のPCにアクセスします。VPN対応ルーターがない場合には対応ルーターに置き換える必要があります。	
お客様からCADIXリモートアクセス用サーバーへの接続*2)	ADSL(一般回線) CATV*1) 光回線 ISDN回線	ADSL業者、プロバイダ CATV業者 光業者、プロバイダ NTT(フレッツ・ISDN)、プロバイダ	Windowsネットミーティング又はリモートアクセスVPNを利用してお客様のPCにアクセスします。	

*1) CATV 接続の場合、グローバル IP が割り振られている必要があります。

*2) に関しては ~ と異なり、お客様からの接続になります。

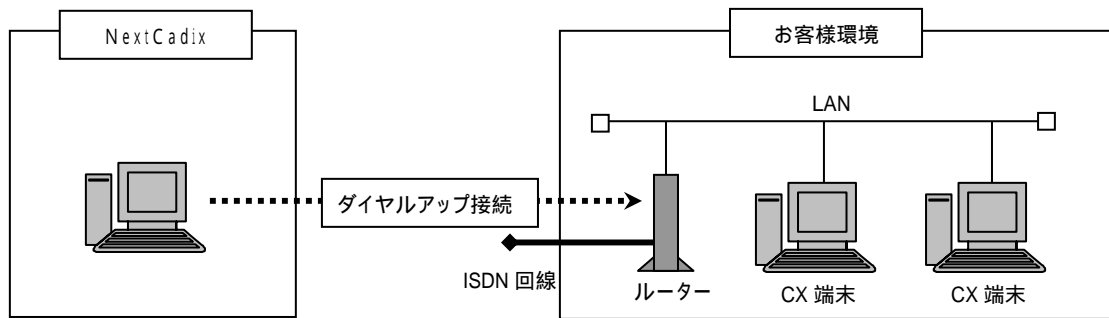
以下では ~ の接続形態について詳しく解説します。

RAS(Remote Access Service)とは

リモートアクセスのための機能。RAS 設定されている端末に一般回線などを使って接続することでお客様のネットワーク環境に遠隔地からアクセスすることが出来ます。

ISDN 回線 + ルーターによるリモートアクセス

お客様に ISDN 回線をご用意して頂き、弊社より ISDN 回線経由でルーター(RAS サーバー)にダイヤルアップ接続します。



ISDN 回線の 1 又は 2 チャンネルを使用して接続します。
ルーターについては弊社にてご用意させていただきます。

必要な契約

ISDN 回線がない場合には ISDN 回線契約(NTT)を行って頂く必要があります。

必要な条件

ルーターの設定については弊社にて行います。

ルーター用 ISDN 回線サブアドレスにはデフォルトで 12 を使用しています。

使用するルーターには、現在、YAMAHA 製 RTA5x シリーズをお勧めしています。

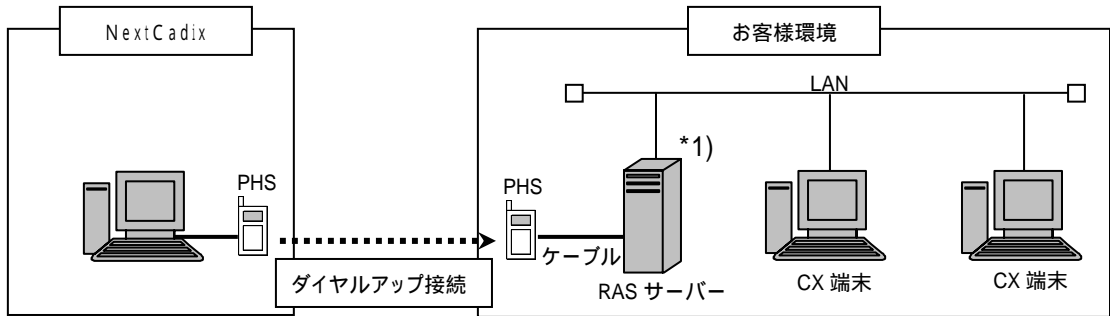
セキュリティ

アカウント、パスワードによるアクセス認証設定(ルーター)。

NextCadix リモートサポート時以外はルーターの電源を切っておいてください。

PHS + PC(RAS サーバー)によるリモートアクセス

PHS 経由で RAS サーバーにダイヤルアップ接続し、お客様のネットワーク環境にアクセスします。



*1) RAS サーバーは弊社 CX 端末との併用も可能です。

必要な契約

PHS 回線契約

必要な条件

リモートアクセス用 PHS

リモートアクセス用 PC

・Windows2000(Professional 又は Server)

PHS 接続用ケーブル

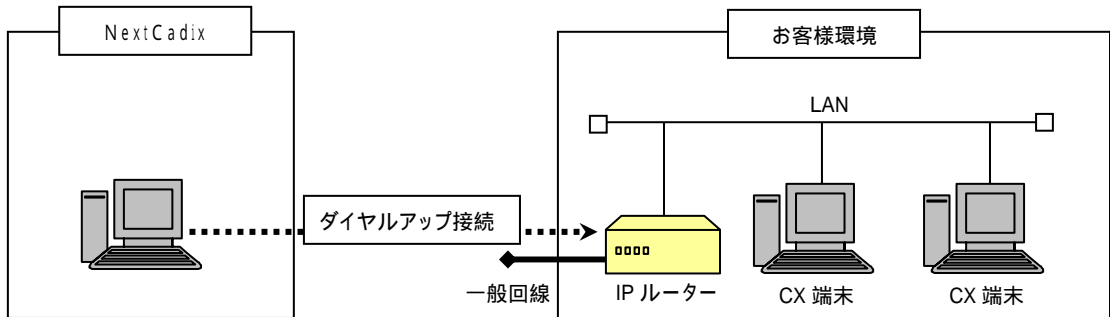
セキュリティ

NextCadixリモートサポート時以外は PHS の電源を切ってください。

接続できるユーザーアカウント(Windows アカウント)の制限。

アナログ IP ルーターによるリモートアクセス

お客様の環境に一般回線しかない場合に使用します。この場合、通信速度が低いため(28.8K)、PC AnyWhere の使用は難しくなります。



必要な契約

一般回線契約

必要な条件

アナログ IP ルーター

セキュリティ

NextCadixリモートサポート時以外は IP ルーターの電源を切ってください。

アカウント、パスワードによるアクセス認証設定(IP ルーター)。

動作実績

マイクロ総研 MR-NWG+

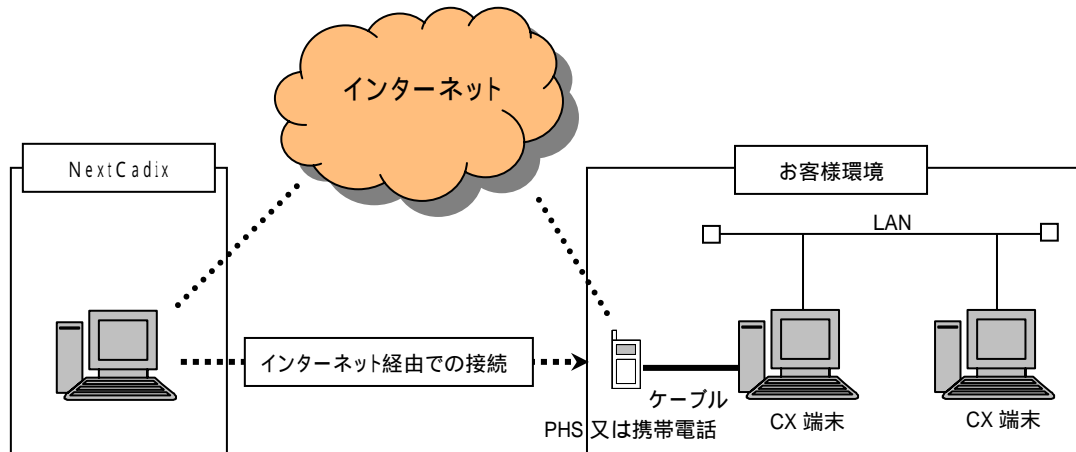
備考

アナログ IP ルーターの場合、通信速度が低くなるため PC AnyWhere の使用は難しくなります。

アナログ IP ルーターによるリモートメンテナンスは UNIX ユーザーの方に限られます。

PHS、携帯電話を使用したインターネット経由によるリモートアクセス

お客様に PHS、携帯電話でインターネットに接続して頂き、インターネット経由にてお客様の PC にアクセスします。



必要な契約

一般回線契約 + プロバイダ

必要な条件

リモートアクセス用 PHS

PHS、携帯電話接続用ケーブル

セキュリティ

NextCadixリモートサポート時以外は PHS、携帯電話の電源を切ってください。

実績

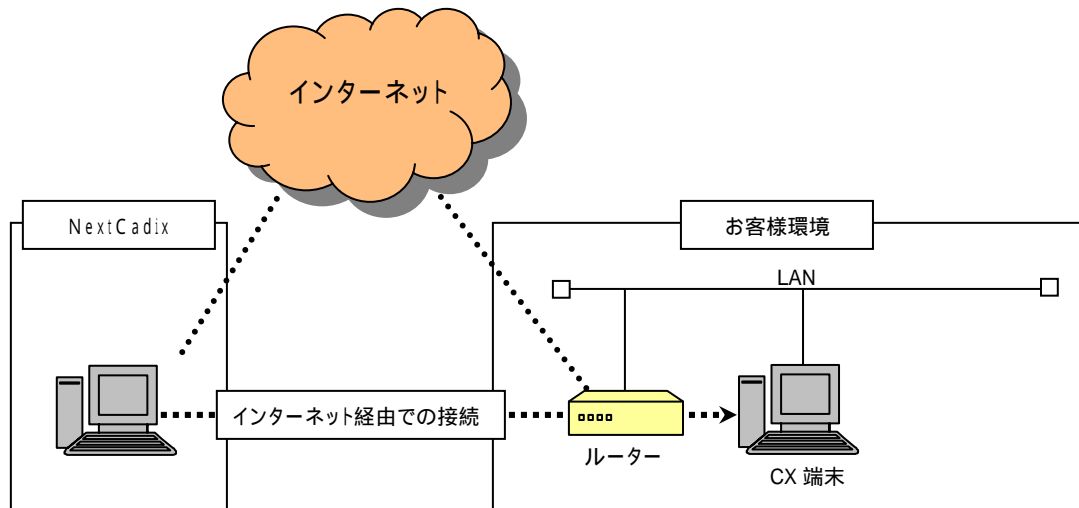
AU + メルコ製 IGM-UCD(ケーブル)

備考

携帯電話での接続の場合、通信速度が低いため(16K)、PC AnyWhere の使用は難しくなります。通常はお勧めしておりませんが、このような接続形態しかない場合に使用します。

インターネット経由によるリモートアクセス

お客様ご使用のインターネット環境を利用してお客様 PC にアクセスします。



必要な契約

ADSL、CATV、光、ISDN 回線のいずれか。

CATV に関してはグローバル IP アドレスが振られていることが条件になります。

必要な条件

CAD システムにインターネット環境があること

ご使用のルーターに静的 NAT 機能があること

(PC AnyWhere が使用する 5631、5362 番ポートを対象の PC にポートフォワーディングする必要があります)

セキュリティ

必要時のみ PC AnyWhere を立ち上げて下さい。

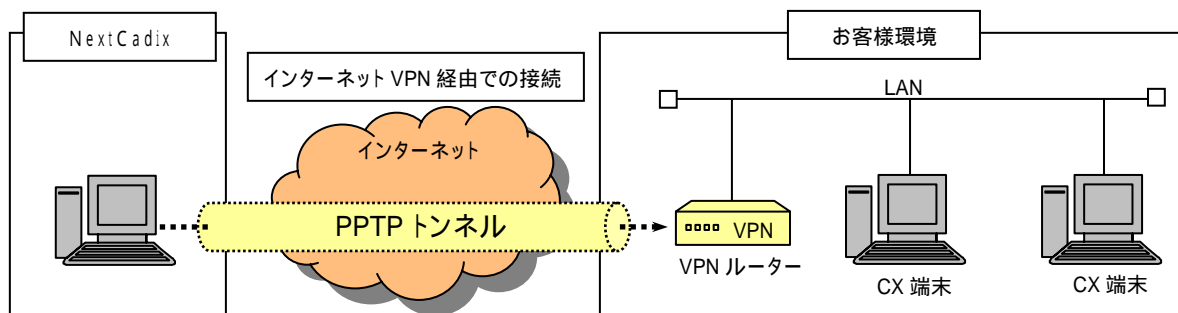
実績

備考

リモートアクセスできる PC は 1 台のみとなります。

インターネットVPNによるリモートアクセスサポート

インターネットVPN(Virtual Private Network)接続を行い、お客様のPCにアクセスします。鍵暗号システムによるアクセス認証、データの暗号化を行います。他の接続に比べて安全性が高くなるという特徴があります。



必要な契約

ADSL、CATV、光、ISDN 回線のいずれか。

CATV に関してはグローバル IP アドレスが振られているか又は、プライベート IP アドレスが振られている場合にはルーターが PPTP パススルーすることが条件になります。

必要な条件

ご使用のルーターに VPN 機能(リモートアクセス VPN)があること

セキュリティ

必要時のみ PC AnyWhere を立ち上げて下さい。

PPTP プロトコルにより、データの暗号化、ユーザー認証が行われます。

実績

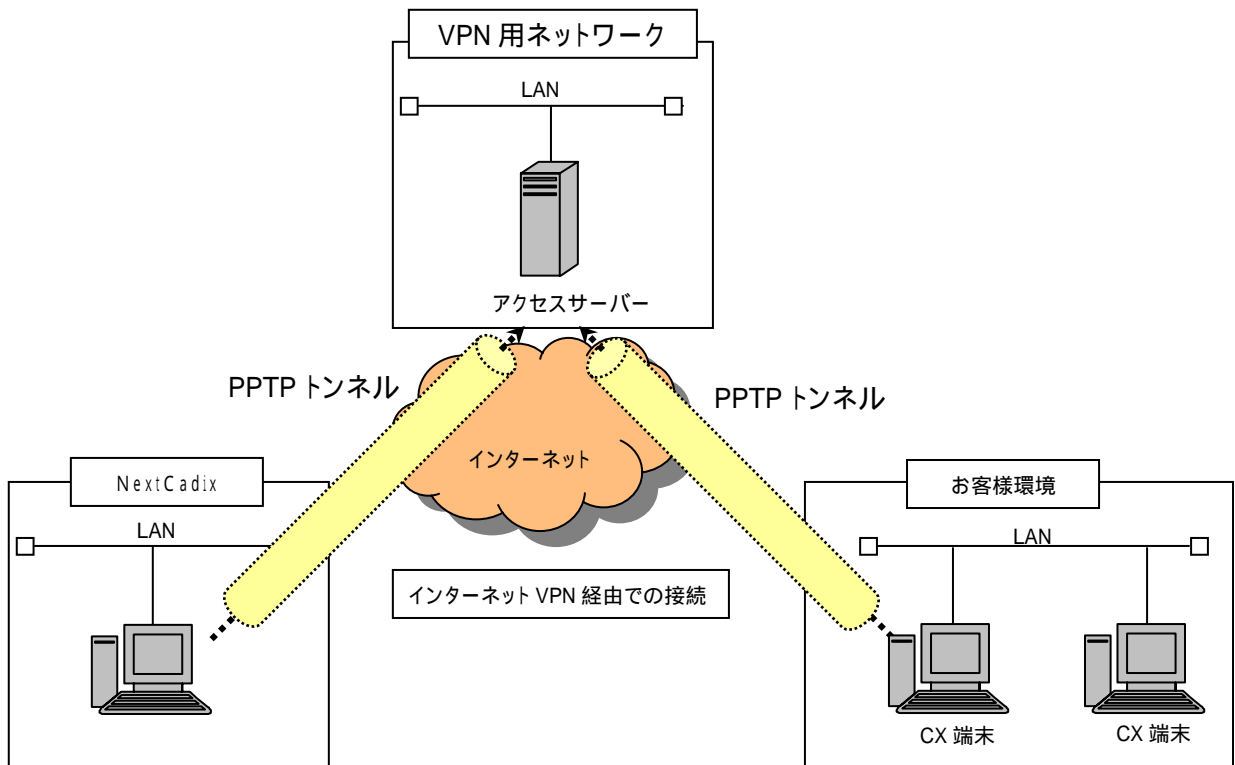
YAMAHA RTA55i (弊社推奨)

備考

お客様ご使用のルーターが VPN に対応していない場合、対応 VPN ルーターに置き換える必要があります。ただし、このような場合 VPN アクセスを受け付けるルーターが常時インターネットに接続しているため、不正なアクセスを受ける可能性があります。よって、新たに回線をご用意して頂き、必要時以外はルーターの電源を切っておいて頂くことをお勧めします。

インターネットVPNによるリモートアクセスサポート(お客様からの接続)

～ までの接続と異なり、お客様から弊社アクセスサーバーに接続して頂きます。
接続には と同様インターネットVPNを利用します。



必要な契約

ADSL、CATV、光、ISDN 回線のいずれか。

CATV に関してはグローバル IP アドレスが振られていることが条件になります。

必要な条件

CAD システムにインターネット環境があること

セキュリティ

必要時の PPTP 接続、NetMeeting の起動を行って下さい。

PPTP プロトコルにより、データの暗号化、ユーザー認証が行われます。

3 通信環境選択フローチャート

